



**市民みんなで
祝った市制30周年**

市制施行三十周年とカルチャーセンターの完成を祝って、五月二十六日から二日間、わたり「しろね30市民のつどい」がカルチャーセンターで開催されました。この「しろね30市民のつどい」は、元年度から二年度にかけて行っている市制三十周年記念事業のメインとなるイベントです。多くの市民からもスタッフとなっていたいただき、市民一人ひとりが主役となって三十周年を祝おうと準備を進めてきました。二十六日は「笑点」の公開放送。二十七日は、記念式典と



記念講演会が行われ、また、両日を通じ、わくわくファミリーランド、凧フェスティバル、フォトコンテストの写真の展示、立体映画など盛りだくさんの催しが行われました。好天にも恵まれ、二日間の入出は一万六千人。会場は市制三十周年を祝う親子連れでにぎわっていました。

— 主な内容 —

- しろね30市民のつどいウォッチング……………①～③
- 記念式典……………④⑤
- 記念講演……………⑥⑦
- 交通安全都市宣言……………⑧

交通安全都市を宣言

記念式典の席上、白根市は、交通安全都市宣言を行いました。本市の交通事故は、国道8号を中心に発生し、絶える日がありません。交通事故絶無の願いを込め、市制三十周年を迎えたことを機に宣言したものです。

式典では、宣言に続き、市内小学校十校を代表し、ミニ警察官の制服を着た十人の児童が登場。男女二人一組で、交通事故のない明るい白根市を実現するため、正しい言葉を高らかに朗読しました。



交通安全都市宣言

車社会の進歩発展は、産業経済の伸張と民生、文化の向上、そしてなによりも便利で快適な生活をもたらしてくれた。

一方、道路交通量は日を追って増大し、これに伴って発生する交通災害の悲惨な実情はまことに憂慮に堪えないところである。

このような現状に於て、すべての市民はお互いに力を合わせて道路交通のマナーを守り、ルールに従ってその安全を図り、もって交通事故の絶無と、人命が何よりも尊重される社会の確立を目指すものとする。

よって白根市は、市制施行三十周年にあたり、全市民が交通安全の実を挙げるために、ここに決意を新たにして「交通安全都市」を宣言する。

平成二年五月二十七日 新潟県白根市



**「笑点」色紙などを
プレゼント**

テレビ新潟と白根郵便局の協力で、「笑点」大喜利出演者全員のサイン色紙2枚と30周年記念スタンプ切手10組をプレゼント。希望者は、はがきに住所、氏名、年齢、この特集号を読んだ感想を書いて、白根市役所市民のつどいプレゼント係(〒950-112 白根市大字白根1235)へ。7月25日(水)必着。プレゼントの発送をもって発表に替えさせていただきます。

**式典のビデオを
貸し出します**

式典のビデオとテレビ新潟で放映した白根市の特別番組のビデオ(いずれもVHS)を市立図書館で貸し出します。